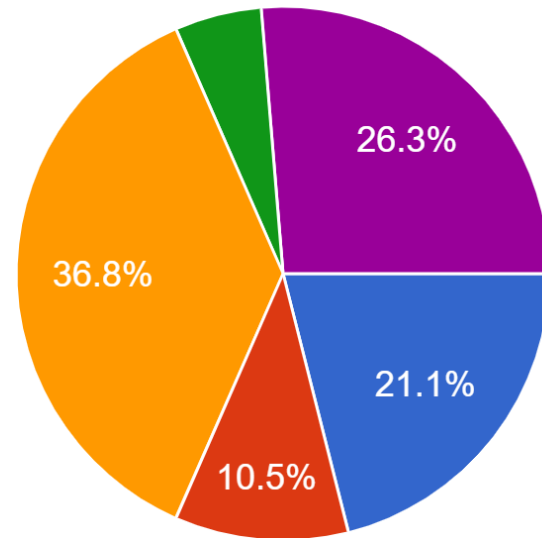


第10回 浜松市がん患者就労支援講演会 アンケート結果

受講者区分

受講者区分

19 件の回答



- 患者
- 企業関係者
- 医療従事者
- 行政関係者
- その他

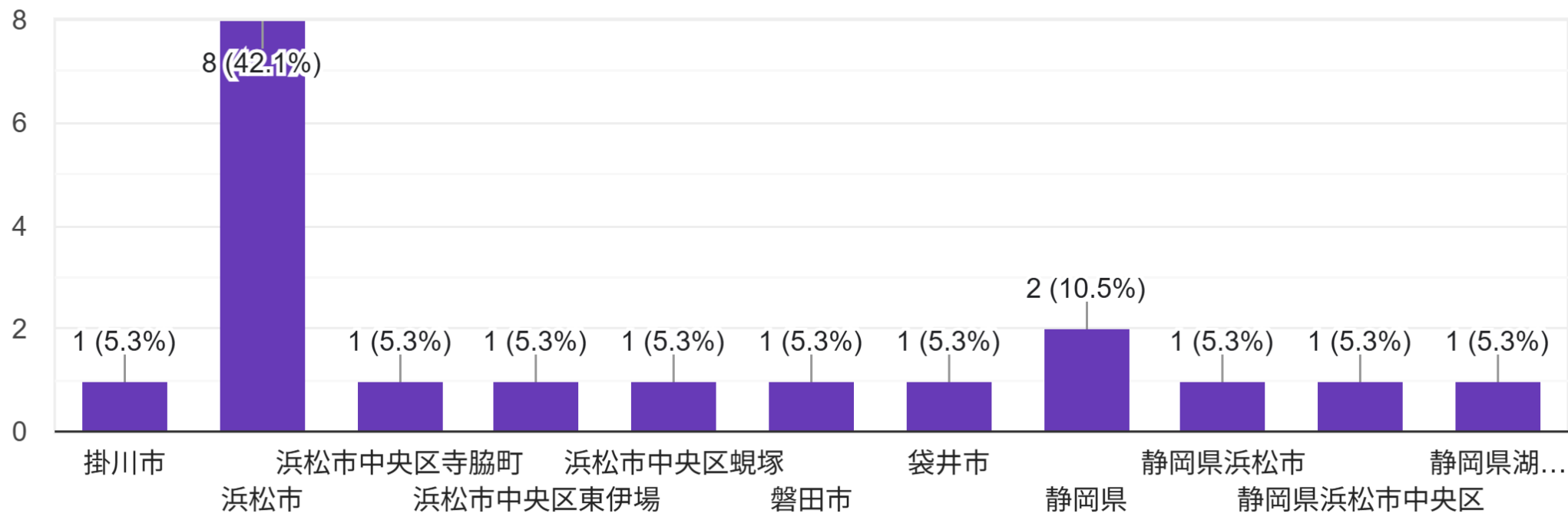
◇その他

両立支援促進員
経済研究所
社会保険労務士 両立支援促進員
相談室運営(看護師・公認心理師)

地域別受講者

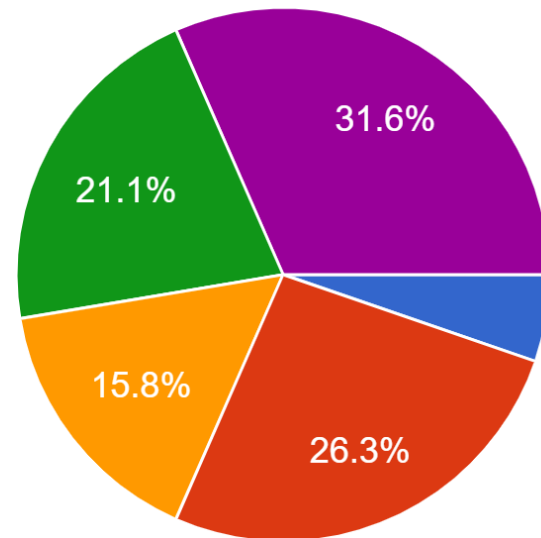
お住まいの都道府県をご記入ください(静岡県内の方は市町をご記入ください)

19件の回答



広報状況

本講演会が開催されることをどのように知りましたか
19件の回答



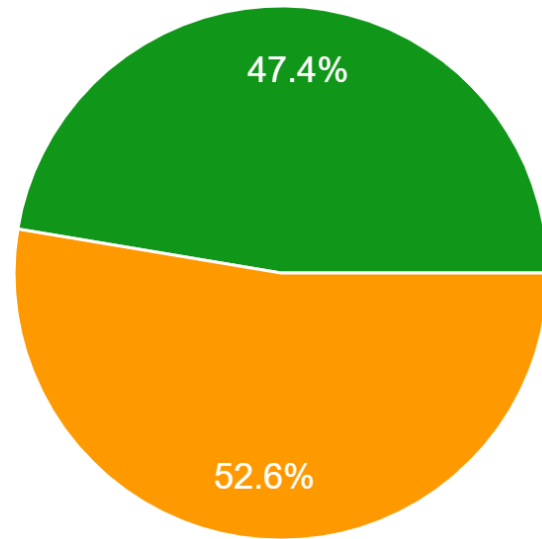
- 広報はままつ
- ポスター
- 主催病院ホームページ
- 会報誌NEWing
- その他

◇その他

社会保険労務士会
病院のチラシ
聖隷浜松病院からのチラシ
健康医療課より
浜松医科大学医学部附属病院

開催時間

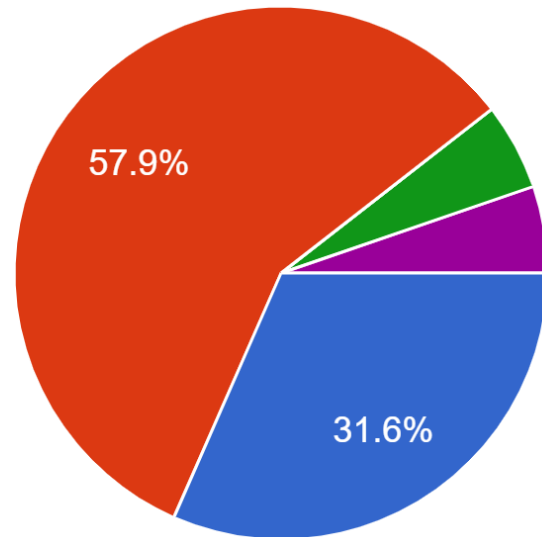
開催時間は適切でしたか
19件の回答



- 長い
- 少し長い
- ちょうどよい
- 少し短い
- 短い

興味・関心

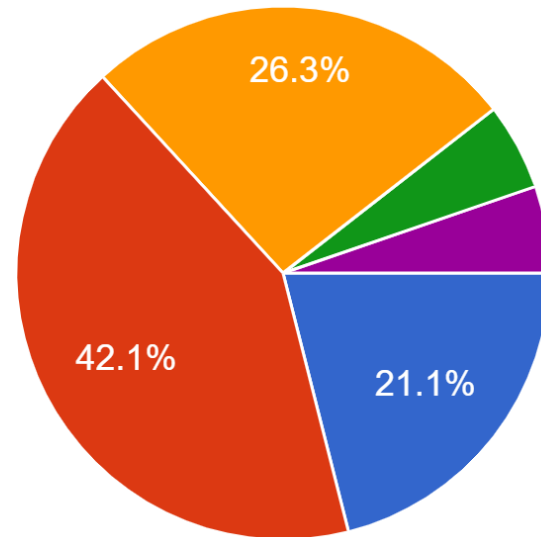
講義内容に興味・関心が持てましたか
19件の回答



- とてもそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまり思わない
- 思わない

明日から活かせること

本日の内容で明日から活かせることはありましたか
19件の回答



- とてもそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまり思わない
- 思わない

明日から活かせること(具体的に)

保険加入、健診の会社負担、何でもやる課の設置など

禁煙の取り組み

社内でもがん治療から復職する従業員がおり、企業としてどんなサポートができるのか、他社の事例を知って提案していきたいと感じました。

なんでもやる課を作る

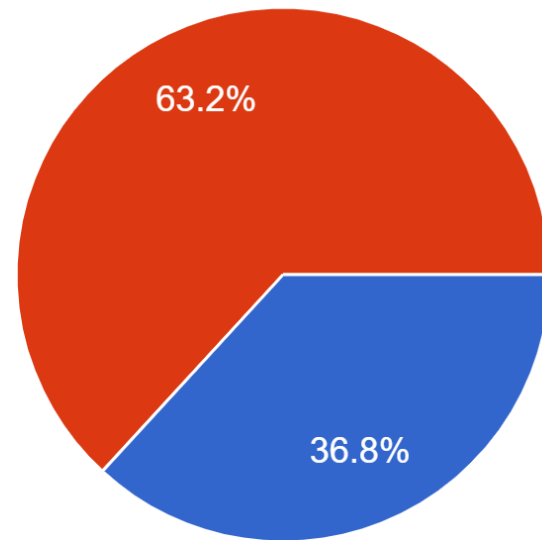
研究所のセミナーに健康経営をテーマとする

一企業が丸となって 病気の方や病気の予防に取り組んでいるのがすごいと思いました

このような会社が増えると仕事へのモチベーションや社内の雰囲気も良いのではと思いました

両立支援の取り組み

両立支援に関する取り組みをしていますか
19件の回答



● はい
● いいえ

◇取り組み内容

復職後の業務内容・スケジュールの契約・定期面談
産業医のサポート等
休暇の取得制度
院内で連携しながら患者さんをサポート

意見・感想①

働く意欲のあるがん患者さんの働きやすい職場についてもっと多くの事例を紹介することで世の中に定着するのではないかと思います。

企業が工夫していることを知ることが出来ました。

退職を選択するのではなく治療と仕事の両立を支援していきたい

メンテックワールド独自の従業員への支援がとても興味深かった

本日はありがとうございました。小松社長様ご自身の体験を活かしたことで、会社全体の健康にも繋がり、また、離職率も下げる働きにもなるなあと感心いたしました。なんでもやる課 沢山の企業に取り入れるべきかと思いましたが 社員の健康は生産性が上がる それによって会社全体にも利益となる 会社が元気だと、日本の経済も元気になると思いました。また、検診が会社持ちというのも驚きました 気持ちよく関心が受けられるなあと思いました。大変勉強になりました

ありがとうございました

意見・感想②

今回初めて講演拝聴しました。講師の方の説明だけでなく、自社の施策徹底していて気持ちが良いほど。国、行政に全て頼るのでなく、地元資本、地域で、育児、介護、傷病からくる貧困を防ぐ手立てを構築し、政党が今の流行りとばかりに裏付けなく主張している保険料の低減を実現するヒントがあるように思います。

癌患部の手術切除後、化学療法(抗癌剤による治療)に専念する為、休職を選択しました。私の会社では、休職後2年間で復帰しないと自動的に退職扱いとなります。現在、復帰するためには1日8時間勤務可能なことが条件となっています。本日の講演の様に、なんでもやる課の様な支援があると復帰しやすいだろうと羨ましく思いました。